

トマト低段密植栽培を始めよう!!

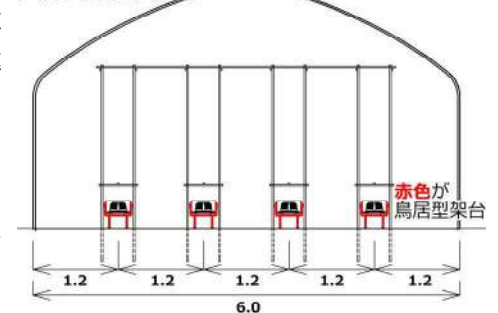
簡単に美味しいトマトを作ろう!!

1. 当社のトマト低段密植栽培システムで美味しく安心安全な国産野菜を消費者に届け、増収増益への安定基盤を築きませんか!!
2. 6 m間口で奥行き50 mの単棟ハウスに右図のように空中ポットレストレー15 cm(5項で紹介)を1 m20 cmの間隔で4列に並べると栽培本数は10 a当たり最大6000株栽培出来ます。慣行栽培の2000株~2400株に比較して3倍程度の本数を定植することも可能です。このとき1株から1段目3個、2段目3個、3段目3個程度で1果当たり120~180g目安とすると1作当たり5~6 t程度収穫することでき、年3作が目標です。また設置する列の間隔を1 m40 cm~1 m60 cm程度としますと、より作業効率が向上しトマトの生育向上を図ることも期待できます。
3. この栽培方法では、低段栽培を行うことでトマト専用の大規模ハウスを必要とせず、高さ3 m程度の水稲用育苗ハウスの空いた時期にハウス軟弱野菜と入れ替えて栽培する事も可能でハウスの活用範囲が非常に広がります。
4. トマトの長段穫りでは、高い場所での誘引作業やトーン付や収穫の終わった部分のつる下しなど多大な労力が必要となります。また長年の経験と技術力が必要となります。そこで当社の低段密植栽培では生産者の方が楽に作業できる様、樹高を抑えた3段穫りで地面と切り離れた隔離栽培型の低段密植栽培を採用しました。
5. 鉢の直径が15 cmで側面全体にスリットがあり底面が網目になった縦3個×横2列の**空中ポットレストレー15 cm**を用いて低段密植栽培を行います。1ポットあたりの容積は約1.7 lでポットの底が地面から35 mm浮く隔離栽培ができるので、土壌障害や連作障害が起こりません。また、栽培終了後、簡単に原状回復が出来、他の作物との切り替えも柔軟です。
6. 排水や養液を回収して綺麗な圃場運営を行いたいというトマトの通年栽培をされる皆様のご要望にお応えするため当社では15 cm6穴専用排水トレーを開発しました。凸凹な圃場でも簡単に水平を実現してトレーを設置できる「鳥居型架台」に排水トレーと空中ポットレストレーを置くことで、より多湿にならない圃場管理が可能となります。また、簡易でレンガなどの上に鉄管を平行に並べて使用することもできます。
7. トマト栽培の要は、灌水に有ると云われます。従来のタイマーで一律の灌水を実施していると晴天が続いてトマトの皮が硬くなった後に雨天になった場合、灌水過多によりトマトのコルク部分が肥大しトマトの皮が裂果します。当社の**日射比例式灌水コントローラー**は、その日の天候(日射量の多少)に対応して各チャンネルごとに晴天時には灌水回数を増やし、雨天・曇天時には灌水回数を抑えることができるため多品種を栽培される産直向け生産者の方にも最適です。また各チャンネルごとに個別に培地への灌水量をコントロールできるため灌水量を抑えることで糖度の高いトマト

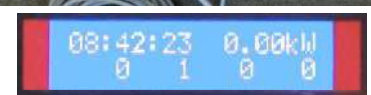
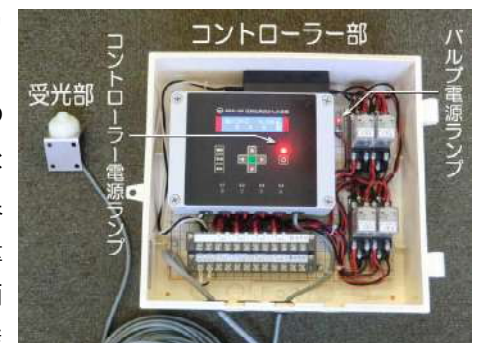


当システムで栽培したトマト

ハウス内設置例

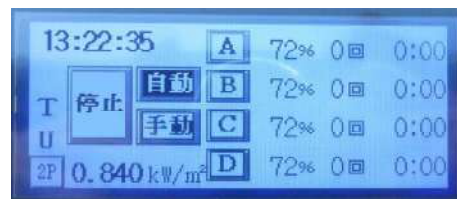


鳥居型架台での排水トレーの設置例



日射比例式灌水コントローラーと表示部

を栽培することができ、収量に重きをおいて大玉トマトを栽培したい場合には灌水量を多めに設定する事で対応出来るという利点があります。



日照比例式灌水コントローラー II 表示部

8. また、従来のコントローラーの基本的な機能は同等ながら、タッチパネルを採用し各種設定や確認をより簡単に行うことができるほか、毎日の総積算日射量、灌水回数、時刻、灌水時の積算日射量などのデータをUSBメモリーに記録できる機能を追加した新型「**日照比例式灌水コントローラー II**」の販売を開始しました。このデータはエクセルなどの表計算ソフトで確認することができます。



定植を待つ7cm 24連結トレーの苗

9. 播種については隔離栽培出来るので病害対策のための接ぎ木苗を必要としません。播種育苗用の鉢に最適な空中ポットレストレー 7cm 24連結トレー（1鉢209cc）に直接播種した苗を定植します。この場合、鉢上げ作業は必要ありません。なお、2作目以降の育苗については、本圃の収穫と平行して行われ、本圃の作付け終了までに定植を行い本圃の入れ替えを行いません。

10. 1段目の花の開花を確認してから本圃である空中ポットレストレー 15cmトレーに通路側へ花芽を向けて定植します。全ての花が咲く必要はありませんが花芽が揃う状態が良いでしょう。これはトマトの1段目の花が開花した時点で3段目までの花芽が形成されているためです。



定植したトレーを鳥居型架台に並べるだけ

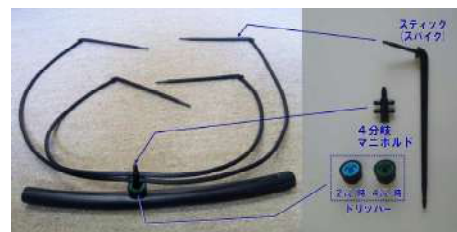
11. 本圃用の培地には、赤玉・ピートモス・パーライト・ゼオライト・燐炭・苦土石灰・カルシウム・マグネシウム・海藻などトマトの3段目まで一作栽培する期間中に必要とする肥料分を含んでいる当社の**トマト栽培専用培土**をお勧めします。生産者様は灌水の管理を行うだけで栽培出来ます。但し、環境、気候などにより発生する病害や生理現象への予防対策は別途十分に実施してください。

12. 20m程度までの短いハウスでは、空中ポットレストレー 15cm 6連結トレーの各ポットにそれぞれ灌水が出来る**15cm 6穴専用灌水チューブ**をお勧めします。万一の目詰まり対策として1ポットに各2穴で灌水します。チューブの下面両側に穴が開いているので作業効率が良くなります。また、目詰まり防止のために不織布製の**簡易灌水フィルター**を販売致して居ります。



トレーに専用灌水チューブを敷設

13. 長いハウスや高低差のあるハウスでは、各トレーにスティックによって安定した灌水を実施することをご提案します。このドリッパーは圧力補正機能と後ダレ防止機能が付いております。圧力補正機能は水圧が変化しても一定の点滴水量に調整します。また、ドリッパーは、毎時4ℓタイプと2ℓタイプが有りポンプ能力に応じて選択できます。写真のようにドリッパーから4分岐するとスティック1本当たりではそれぞれ毎分約20ccと10ccとなります。



スティックで安定した灌水を

当社は、実際にこのシステムを使ってトマト栽培を実践していますので、興味をお持ちのお客様は、当社試験圃場にて実際の栽培状況をご覧ください。随時見学可能ですが、事前にご連絡のうえ是非お越しください。

このシステムの御見積をお客様の環境に合わせてさせて頂きますので先ずお問い合わせください。

御問い合わせ先

SRS 株式会社 阪中緑化資材

〒649-6124 和歌山県紀の川市桃山町市場269-1

TEL 0736-66-2201(代) FAX 0736-66-2172

http://www.sakanaka.co.jp E-mail srs@sakanaka.co.jp

トマトやイチゴの栽培圃場に最適!!

空中ポットレストレー15cm6穴専用排水トレイ

トマト低段密植使用例



「鳥居型支柱」設置例



◆鳥居型支柱を使用すると圃場内の凸凹による高低差を調節できます。

イチゴ高設栽培使用例



ホース接続例



◆空中ポットレストレー15cm6穴を使用したトマトの低段密植栽培やイチゴの高設栽培が増えて参りました。そのなかで液肥の回収や排水の集水が課題だと、ご指摘を頂くことがありました。排水トレイで快適な圃場を。

◆トレイから滴る水や養液を排水トレイで受けて集水し裏面中央のホース取付口から排水(回収)します。

規格

商 品 名	規格(mm)	入数・荷姿
空中ポットレストレー15cm6穴 専用排水トレイ	W480×D314×H52	40枚入

製造元

SRS 株式会社 阪中緑化資材

〒649-6124 和歌山県紀の川市桃山町市場269-1

TEL 0736-66-2201(代) FAX 0736-66-2172

http://www.sakanaka.co.jp E-mail srs@sakanaka.co.jp

販売店